

「腐食劣化度診断システム」の概要

【本システム導入によるメリット】

現状の課題	本システム導入後
送電鉄塔の腐食劣化度の判定は、作業員による目視点検などで行っており、判定に個人差が生じやすい。	▶ 撮影画像を基に、A I が送電鉄塔の腐食劣化度を瞬時に判定することができるため、判定に係る個人差を解消できる。
送電鉄塔の腐食個所やその程度について、鉄塔 1 基ごとに管理しているため、塗装や部材取替などの補修工事計画の策定に、多くの時間と労力を要している。	▶ G P S により位置情報を自動取得し、当該鉄塔の情報を判定結果とともにデータベースへ送信することで、各鉄塔の腐食劣化度を一元的に管理することが可能。これにより、腐食状況を的確に反映した合理的な補修工事計画を短時間※で策定することができる。 ※従来社員 5 人がそれぞれ約 5 時間、計約 2 5 時間かかっていた作業を、社員 2 人がそれぞれ約 2 時間、計約 4 時間で実施できる。

【システム概要】



※専用アプリケーション「JUDGE！」:株式会社SRA東北が、画像認識AIを活用し開発した、腐食の進行具合をAI診断するアプリケーション。